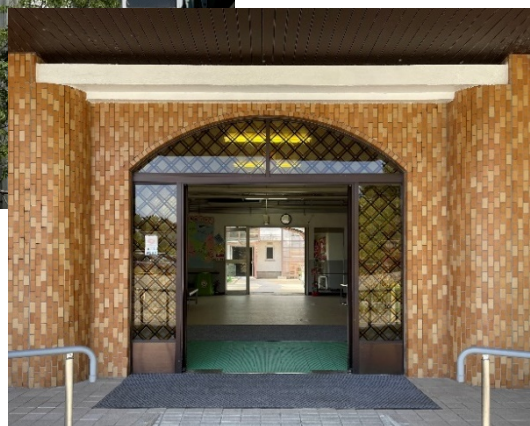


兵庫県立むこがわ特別支援学校 令和4年度開校に向けた 学校説明会

令和3年11月13日(土)
西宮市勤労会館



兵庫県立むこがわ特別支援学校開校準備室
〒633-8001 西宮市田近野町8-8
(兵庫県立こばと聴覚特別支援学校内)

TEL 0798-61-3630

FAX 0798-61-3670

教育概要について

1 校訓 自分らしく学び 自分らしく輝き 自分らしく翔く

2 教育目標

(1) 教育目標

幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な学びを支援するという視点に立ち、一人ひとりの教育的ニーズに基づき、能力と可能性を最大限に伸ばす適切な指導と支援を行うことにより、共生社会を「自分らしく」生き抜く力を育成する。

(2) 教育方針

- ① 一人ひとりの障害特性とニーズに基づき、きめ細やかな指導を充実させる。
 - ・子供と保護者の願いと人権を尊重し、幼児児童生徒一人ひとりの自己実現を支援する。
 - ・自らの課題を明確にし、学ぶことを楽しみながら、自分らしく生きる力を養う教育を行う。
 - ・個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づいたきめ細かな指導を図る。
- ② 関係機関との連携を強化した、地域に開かれた信頼される学校をめざす。
 - ・特別支援教育の専門性を追求するとともに、地域におけるセンター的機能を発揮する。
 - ・地域資源を活用し、開かれた学校運営を行うと共に共生社会の礎を築く。
 - ・福祉・医療・労働等の関係機関との連携を密に、安全・安心な学校づくりをめざす。
 - ・ホームページ等の充実を図り、情報発信を積極的に行う。
- ③ 自立と社会参加を目指す体系的・系統的なキャリア教育を推進する。
 - ・多様な体験的活動を通して、豊かな社会性と生きた知識、技能を身に付ける。
 - ・キャリア教育を基軸とした幼小中高と一貫した系統的継続的な指導を行う。
 - ・人とのかかわりを通して、豊かな表現力、自己有用感を育てる教育を行う。
 - ・幼児児童生徒、保護者とのガイダンス機能を充実させ、進路指導の充実を図る。
- ④ 共に学ぶ幼児児童生徒を育てる教育活動を展開する。
 - ・共に学ぶ活動を通し、共に学び共に育つ生徒を育成する。
 - ・居住地校や地域校との交流や、「交流及び共同学習」を積極的に推進する。
 - ・幼児児童生徒の特性に配慮し、学部間交流を密として共に学習する機会を設ける。

(3) 重点課題

- ① 幼児児童生徒、一人ひとりの人権と一人ひとりの未来を尊重する意識と態度の向上
- ② ICT を活用した主体的に学ぶ授業づくりと学校と家庭間の連携
- ③ 地域資源を活用した体験活動を主とした地域とともに育つ学校づくり
- ④ 専門能力スタッフ等との連携によるチームとしての校内・地域支援の推進
- ⑤ 幼児児童生徒が安全安心に学び生活できる環境づくり
- ⑥ 一人ひとりをつなぐ、学部間をつなぐ教職員の同僚性や連携づくり

(4) 各部の目標

① 小学部

体験的な学習や交流を通して豊かな人間関係を育む中で、一人ひとりに応じたコミュニケーション方法での表現力を培い、積極的に仲間との友好を深める。自分のことは自分でする習慣を身に付けながら周囲に興味・関心を広くもち、人の役に立とうとする力を身に付ける。

② 中学部

一人ひとりの実生活に活かせるコミュニケーション能力を向上させ、将来の自立のために必要な学力の定着・向上を図るとともに、仲間と共に豊かな人間性を養う。自分自身を輝かせ自ら考え、判断し、働くことへの興味・関心の幅を広げ、自己実現を行おうとする姿勢を養う。

3 設置学部 -令和4年度-

知的障害部門(小学部・中学部)

※聴覚障害部門(保育相談部・幼稚部)、知的障害部門(高等部:普通科)は令和6年度より設置

4 対象の児童生徒 -令和4年度-

知的障害のある者で、西宮市内の以下の小学校通学区域に居住する児童生徒。

【通学区域】

安井小・大社小・神原小・甲陽園小・広田小・平木小・甲東小・上ヶ原小・上ヶ原南小
 段上小(ななくさ学園生を除く)・段上西小・樋ノ口小・高木小・高木北小・瓦木小
 深津小・瓦林小・上甲子園小・春風小・鳴尾小・南甲子園小・甲子園浜小
 高須小・高須西小・鳴尾東小・鳴尾北小・小松小

5 始業・下校時間(予定)

	月	火	水	木	金
始業	8:50(スクールバス 8:45学校着)				
下校	小学部 13:10	小学部 中学部 15:00	小学部 中学部 14:00	小学部 中学部 15:00	小学部 (1・2・3年) 13:10
	中学部 15:00				小学部 (4・5・6年) 中学部 15:00

6 令和4年度年間行事(予定)

4月	スクールバス試走 開校式・始業式・入学式
5月	
6月	学部運動会(※未定) 遠足(小1~5、中1・2)
7月	1学期終業式
8月	
9月	2学期始業式 校外学習(小6)

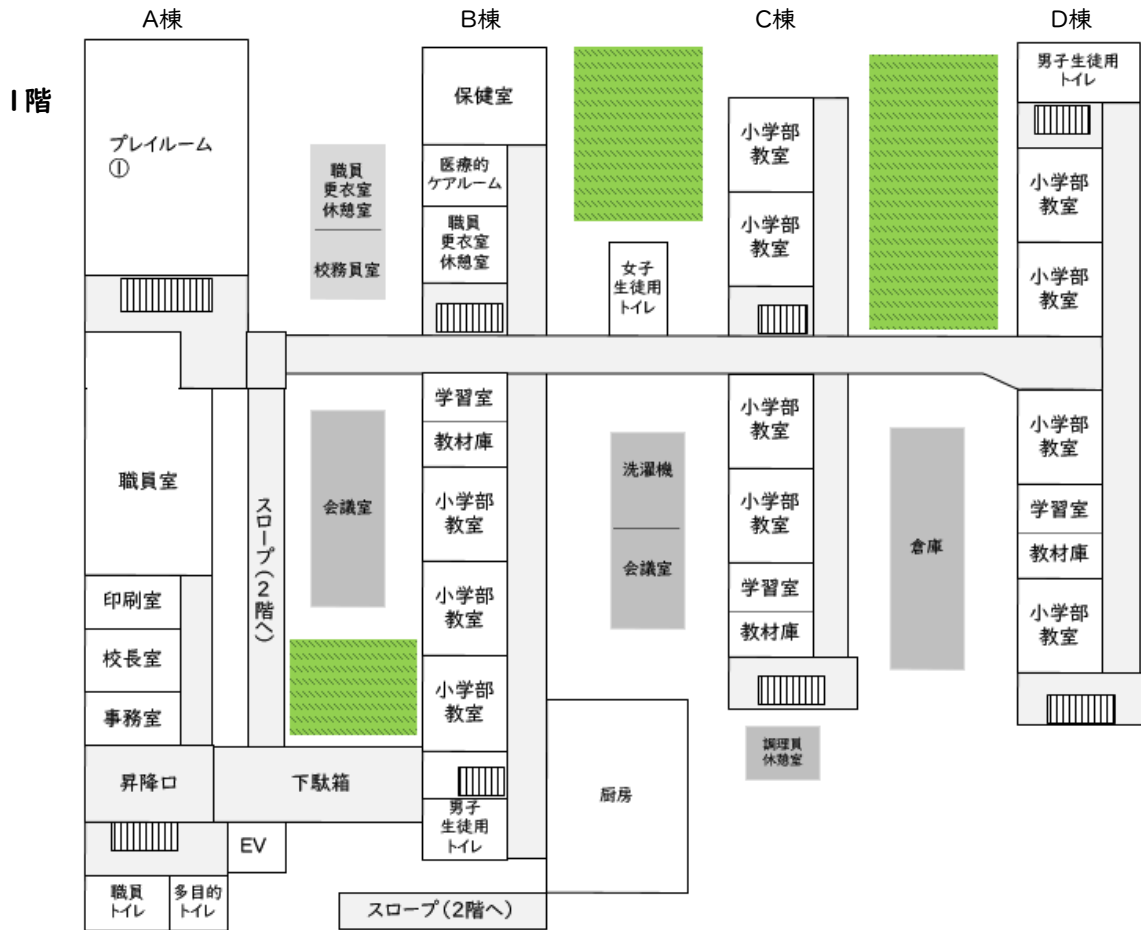
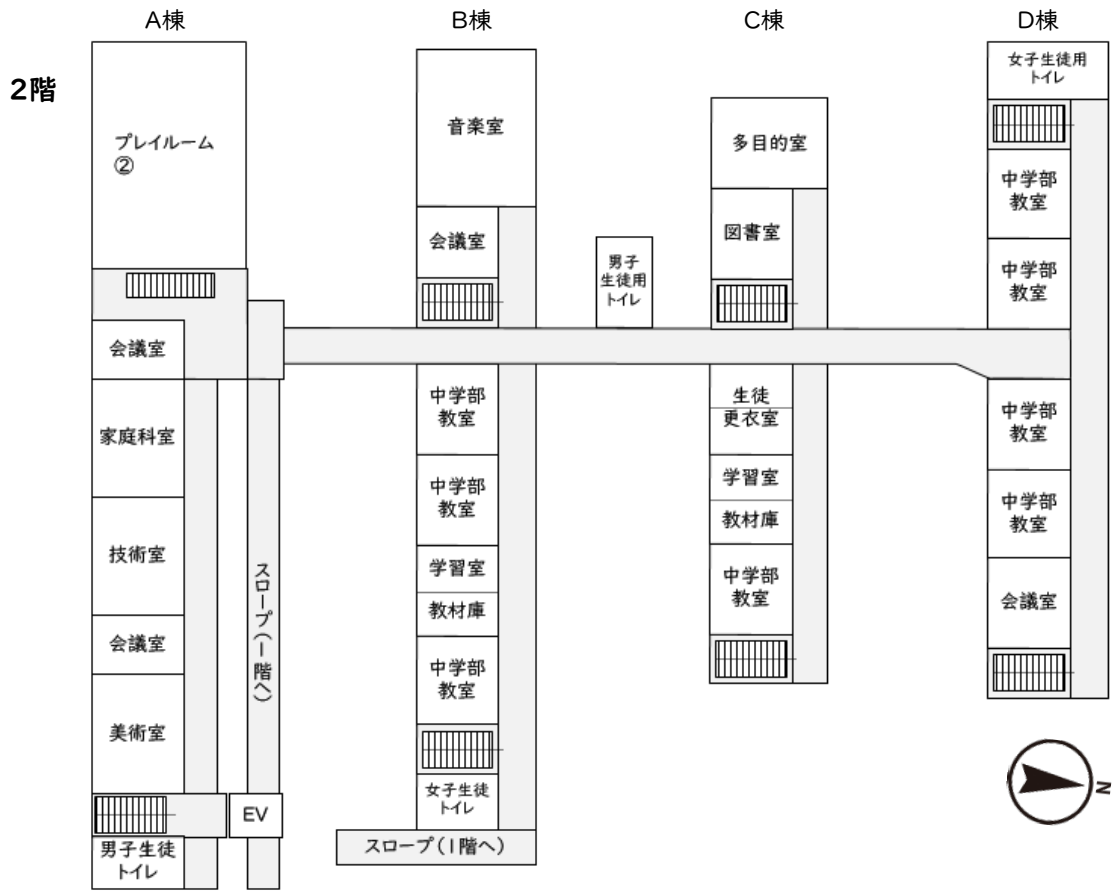
10月	宿泊学習(小5・中2)
11月	修学旅行(小6) 学部学習発表会(※未定)
12月	2学期終業式
1月	3学期始業式
2月	お別れ遠足(小6)
3月	卒業式・3学期修了式

7 諸費用

給食費、通学(交通・用品)費、学用品費、修学旅行費、教材費、PTA会費、学年費等

※就学奨励費(給食費・通学費・学用品費等、修学旅行費等が対象)が、保護者の所得状況に応じて受給できます。

8 校舎図



本校の所在地について



阪急今津線 仁川駅 から約 2.2km 徒歩約 20～30 分

阪急電車(仁川駅) → 阪急バス(阪急逆瀬川・JR甲子園口行) → 新明和前
阪急電車(逆瀬川駅) → 阪急バス(甲東園・仁川駅前行) → 新明和前

本校への通学方法について

1 スクールバスについて

スクールバスの運行方針

- ・義務教育(小・中学部)の児童・生徒を対象に就学保障の観点から運行する。
- ・高等部の自力通学が困難な生徒については、スクールバスの利用を認める。
- ・始発乗車場から学校までの運行時間は、最長でも90分以内を想定。



スクールバスのバス停及びバス停出発時間等の決定について

- ・令和4年2月の個別面談の際に提示、相談
- ・令和4年4月のスクールバス試走
※指定時間に保護者と一緒にバス停に来ていただき、バス停の位置確認と運転手さん、介助員さんとの顔合わせを行う。

2 自力通学について

自力による通学は、通常生徒本人が自分自身で身の安全を確保できることを前提条件とします。※原則として高等部のみが対象です。

転入学時に必要な物品について

1 服装

	通学時の服装	登校後の服装
小学部	自由（華美でないもの）	
中学部	<p>■標準服（制服）</p> <p>冬：ブレザー ポロシャツ（長袖） スラックス or スカート</p> <p>夏：ポロシャツ（半袖） スラックス or スカート</p> <p>（金額の目安） 夏冬上下5点セットで40,000円台 ※就学奨励費受給対象品</p>	<p>■標準ユニフォーム（体操服）</p> <p>冬：長袖上下 夏：半袖上下 上着左胸に校名・個人名刺繍入り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ヨットスポーツ<AKASHI S.U.C> ※素材「ハイブリッド触媒®TioTiopr emium®」使用</p> </div> <p>（金額の目安） 上下4点セットで11,000円程度 ※就学奨励費受給対象品</p>

※2月の個別面談後に採寸を予定しています。

※いずれも、現在の学校等で着用していたものを使用しても構いません。

2 持ち物

かばん（リュックサック等）、**帽子**、**水筒**、**上靴**、**ハンカチ**（ハンドタオル）

給食セット（エプロン・スマック、三角巾・帽子、マスク、スプーン・フォーク等）

歯磨きセット（歯ブラシ、コップ）

図工用：**スマック**（大人の古いTシャツ・ワイシャツ等でもよい）、**クレパス**等

体育館用：**体育館シューズ**・シューズ入れ

クラス用：**ぞうきん**、**ティッシュボックス**、**ビニール袋**等（学期ごと）

個別に必要なもの：**筆記具**、**予備服**、**介助食器**、**おむつセット**等

※いずれも、現在の学校等で使用していたものでも構いません。

※入学説明会（3月）にて、改めて学部毎に詳しく説明します。

※学用品、通学用品については就学奨励費受給対象品となりますが、ぞうきん、ティッシュ、おむつセット等、就学奨励費の対象とならない経費もあります。

3 防災用品

防災ずきん・収納バッグ

防災ずきんを入れた収納バッグを自分の椅子の背もたれにかけておき、防災ずきんを使用するときに自分で取り出し、身に付ける練習をします。バッグには、サポートブック（障害の状況や特性、かかりつけ医等の情報）も収納し、災害時にはバッグを持って避難します。防災用品を身近におき愛着を持つことで、災害時にも抵抗なく使用できるようにします。

防災ずきん：難燃素材使用品推奨

収納バッグ：防災ずきんを収納でき、椅子の背もたれに装着し保管できるもの

※2月の個別面談時に注文の受け付けを予定しています。

※現在の学校等で使用していたもの、ご家庭で用意したもの（手作り）でも構いません。

※防災ずきんは、就学奨励費受給対象品となります。

校歌・校章について

校歌 作曲を県立西宮高等学校 音楽科の生徒たちに依頼。現在、細部を調整中。

やくそくするよ むこがわに	じぶんらしく はばたきだそう	ひとりひとりの ゆめみのる	ともとのきずな あしたへと	あおぞらたかく みらいがひかる	やくそくするよ むこがわに	じぶんらしく かがやかせよう	ひとりひとりの ゆめがさく	かさなるえがお あふれてる	きよきながれが ときをはこぶ	やくそくするよ むこがわに	じぶんらしく まなんでいこう	ひとりひとりの ゆめのたね	かがやくひとみ つどうにわ	そよかせかるく みなをつつむ	校歌 作詞 森川 晃	県立むこがわ特別支援学校
------------------	-------------------	------------------	------------------	--------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	-------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	-------------------	---------------	--------------

校章 デザインを県立兵庫工業高等学校 デザイン科、県立姫路工業高等学校 デザイン科、県立龍野北高等学校 総合デザイン科の生徒たちに課題研究として依頼。採用作品1点、佳作4点を選出。採用作品については、現在、細部を調整中。

こんなことを考えています（新設校の特色）

- 一人ひとりの人権を常に尊重し続ける学校
 - ・一人ひとりと同じように大切にするという観点から、教師から児童生徒への呼びかけは「さん付け」で統一する。
- クラウドサービスを活用し、学校と家庭との双方向通信を実現
 - ・メールでの出欠連絡、オンライン授業参観、新校舎の建築の様子等の配信。
- 地域社会との繋がりを積極的にすすめる
 - ・週に一度は学校の外に出て教育活動を行う等、地域資源を積極的に活用する。
 - ・学校の広報活動を推進し、地域社会との交流の機会を増やしていく。
- 安全・安心な環境づくり
 - ・教職員の安全点検等をより一層、徹底するとともに、児童生徒、保護者、地域と共に、安全・安心な学校づくりをすすめる。
 - ・身近な防災グッズである「防災ずきん」を、児童生徒の防災意識を高めるための手立てとして使用する。避難訓練の際に繰り返し使用することで、自分の身を守るための道具としての認識を高める。
- 統一した標準ユニフォーム(体操服)、中学部の標準服(制服)の導入
 - 標準ユニフォーム(体操服:登校後に着る服)
 - ・登校後、ユニフォームに着替えることで、教育活動への切り替えをスムーズにする。
 - ・同じユニフォームを着ることで、同じ学校に通う仲間としての連帯感をはぐくむ。
 - 中学部の標準服(制服:通学時の服装)
 - ・制服を導入することで、保護者だけではなく、生徒が自らの成長を実感し、自尊心を高める機会とする。
 - ・制服を着る日と着ない日で、学校へ行く日かどうかの見通しを生徒自身が持つことができる。

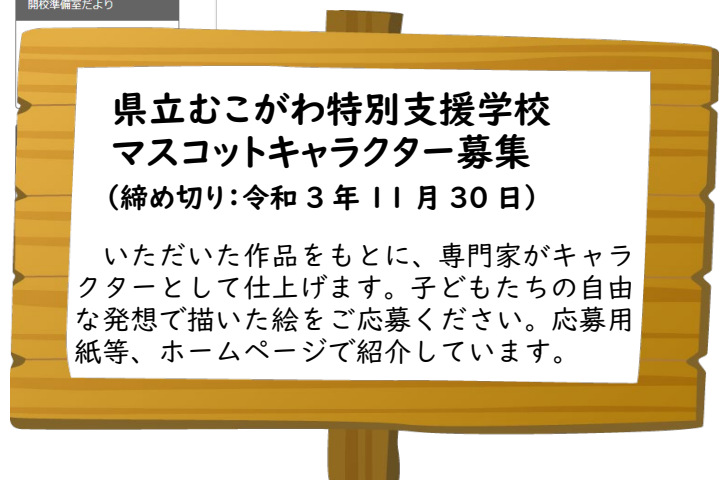
今後の面談・説明会等の予定

- | | |
|--------|--|
| 令和4年2月 | 個別面談会・採寸会 （土日を含む日程より個別に調整） |
| 令和4年3月 | 入学・就学先変更者説明会 （学部説明、事務手続き説明等）
学校施設見学会 |
| 令和4年4月 | スクールバス試走 （バス停までの模擬登校）
※スクールバスには乗車しません。
開校式・始業式・入学式 |

学校ホームページについて

HP <http://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/mukogawa-sn/NC3/>

リニューアルしました。



県立むこがわ特別支援学校開校準備室

〒663-8001 兵庫県西宮市田近野町8-8（県立こぼと聴覚特別支援学校内）

電話番号 **0798(61)3630** FAX番号 **0798(61)3670**

転入学年度に関係なく、個別相談を行っています。お気軽にお問い合わせください。